



# 東日本大震災 災害ボランティア 活動報告

浜松協働学舎青葉の家  
生活支援員 吉田時成

2011年5月25日 連合会わ総会資料

# 本日の報告内容

- 派遣までの経緯
- 「被災地障がい者センターいわて」について
  - ・センターの母体
  - ・センターの概況
  - ・センターの活動
- 現地での活動について
  - ・活動地域
  - ・活動内容
- 浮かび上がってきた問題点

# 現地の様子







被災地障がい者センター いわて

宿泊場所 食事も提供されます





遠野新拠点



仮設住宅では新しいニーズが











# 派遣までの経緯

- 「被災地障がい者センターいわて」とは
  - ・東北関東大震災災害者救援本部が設立されたが、支援する実行部隊が必要
  - ・阪神淡路大震災の際に発足した「ゆめ風基金」と、現地の障害当事者団体「たすけっと」が母体
  - ・「被災地障がい者センターみやぎ」「～ふくしま」「～いわて」開設

## ■活動の難しさ・課題

- ①ニーズがでてこない。
- ②地域サービスにつなげづらい。
- ③県内のボランティアは決して多くない。
- ④「福祉避難所」が機能できていない。
- ⑤障害者の動向を行政・地域で把握できていない。
- ⑥「センターいわて」自体の活動量が保障されない。
-

- 静岡から継続的に支援があることは、とても助けになっています。今後1人でも多く、できれば長期で、現地での活動を繋げていってほしいです。
- 今回の被災地派遣では、想像を絶する現実、それを受け容れなければならない現実を目の当たりにしてきました。
- 復興には長い時間が必要ですが、私たち一人一人の力を繋げていくことが不可欠です。